



消化管の病気

食道 ▶ 食道炎・食道内異物ほか

胃 ▶ 急性胃炎・慢性胃炎・出血性胃腸炎・胃内異物・腫瘍・胃捻転 ほか

腸 ▶ 腸炎・吸收不良症候群・食飴性過敏症・腸閉塞・腸重積・直腸脱・腫瘍 ほか



食欲がない



下痢や排便回数が
増えている

主な症状



嘔吐している



便に血や粘液が
混ざっている



排便ができないようだ

毎日のスキンシップを通して、
小さな変化に気づいて
あげることが大切です。



大日本住友製薬株式会社
アニマルサイエンス部



犬の消化管のはたらき

おいしい食べ物を栄養へ変えてくれる大切な消化管。
ちょっとしたことで調子が悪くなる、
実はとてもデリケートな臓器なのです。
さあ、一緒に「イヌの消化管のはたらき」を学んで、
愛犬のちょっとした変化に気をつけてあげましょう。

監修: 北里大学 獣医学部獣医学科 小動物第3外科学研究室
教授 岡野 昇三



消化管とは？

食べ物が入る口から、ウンチとなってでてくる肛門までの「1本の管」を消化管といいます。消化管はその働きによって「口→食道→胃→十二指腸→小腸→大腸」に分けられ、それが正常に働くことによって食べ物を栄養へと変えることができます。

消化管の中でも、食べ物のほとんどを消化する胃、十二指腸の働きを正常に保つことが大切です。

消化管の状態が悪くなる原因

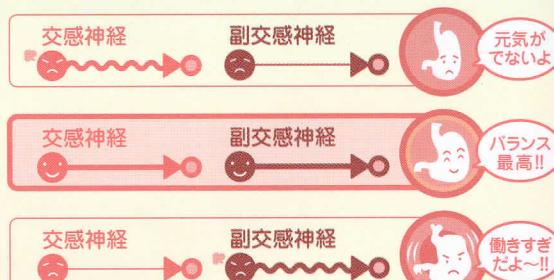
- 寄生虫、ウイルス、細菌などの微生物感染
- 年齢・ストレス・食事など

胃・十二指腸で起こるこんな話

消化管は自律神経系と呼ばれる神経によって調整されています。

自律神経系は交感神経系と副交感神経系に分かれ、**交感神経系の働きが強いと胃・十二指腸の活動が鈍り、逆に副交感神経系の働きが強いと活動が活発になります。**

このように正常な胃・十二指腸の働きは交感神経系と副交感神経系のバランスによって調整されています。



嘔吐・食欲不振・下痢などの症状がみられた場合は消化管が正常に働いていない可能性があります。異変を感じたらすぐ獣医師にご相談ください。

*「消化」とはタンパク質・炭水化物などの栄養素が分解されて、生体に吸収、利用されやすい物質となっていく行程をいいます。例えば、タンパク質であればアミノ酸、炭水化物であればブドウ糖などに分解され、生体に利用されます。

食べ物の旅

口

口に入った食べ物は飲み込まれ、食道へ送られます。

イヌは食べ物をほとんど噛まないで、飲み込むことが多いといわれています。



大腸

大腸では主に水分が吸収されて、糞便が形成されます。

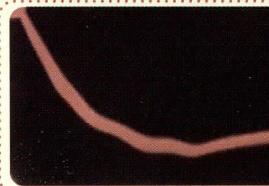
大腸では主に粘液が分泌されて、糞便内の細菌などから腸壁を保護しています。



食道

食道では口から胃の方向への筋肉の運動によって食べ物が運ばれ胃へ送られます。

この筋肉の運動を「蠕動(ぜんどう)運動」といいます。蠕動運動のおかげで食べ物はスムーズに胃へ送られます。



胃

胃に入ってきた食べ物は、胃酸や消化酵素などの胃液によって栄養素が吸収されやすい状態にまで消化されます。

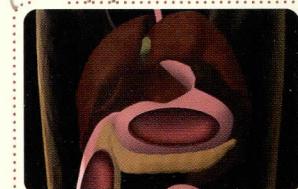
胃は食道と同様「蠕動運動」によって、十二指腸へ送ります。



十二指腸・肝臓・すい臓

消化された食べ物は十二指腸で肝臓から分泌される胆汁、すい臓から分泌されるすい液と混ざり合い、さらに消化が進み栄養素の吸収が行われます。

胆汁には脂肪の消化吸収を助ける胆汁酸が含まれています。また、すい液にはタンパク質・炭水化物・脂肪の消化を助ける酵素が含まれています。



小腸

小腸では食べ物は完全に消化され水分・電解質・糖質・タンパク質・脂肪・ビタミンなどの吸収が行われます。

